

各位

会社名 株式会社リプロセル  
代表者名 代表取締役社長 横山 周史  
(コード番号：4978、東証グロース市場)  
問合せ先 CFO 兼 経営管理部 GM 宗村 敏  
(TEL. 045-475-3887)

### 2024年3月期通期個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2024年3月期（通期）個別業績と前期業績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前期（2023年3月期） 実績（A）	1,550	△337	△111	△296	△3.52
当期（2024年3月期） 実績（B）	941	△387	△61	△205	△2.40
増減額（B－A）	△609	△49	49	91	－
増減率（%）	△39.3	－	－	－	－

#### 2. 前期実績値との差異の理由

売上高：新型コロナウイルスPCR検査事業において、新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類感染症に移行したこと等の環境変化を受け、同事業の売上高が前期実績から大幅に減少いたしました。結果として当期実績が前期実績を大幅に下回りました。

営業利益及び経常利益：営業利益については、前述のとおり、売上高が前期実績を大幅に下回ったことによる影響を受け、前期に比べ損失幅が拡大しておりますが、再生医療製品ステムカイマルの国内第II相臨床試験が2023年5月に完了し、データ解析・評価のフェーズに移行したことに伴い、前期より減少傾向にあった同事業に係る研究開発費用が当期においてさらに減少したことにより損失幅の拡大が一部相殺されております。経常利益については、2023年5月30日付の「令和4年度神奈川県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（医療分）交付額確定のお知らせ」で開示いたしましたとおり、当期に当該補助金を営業外収益として計上したため、前期に比べ損失幅が縮小しております。

当期純利益：2023年5月10日付「棚卸資産評価損（売上原価）、営業外収益、営業外費用、特別損失の計上及び2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、前期においては減損損失131百万円、投資有価証券評価損52百万円が発生しました。これらが当期は発生しなかったことにより損失幅が縮小

しておりますが、2024年5月7日付「営業外収益、特別損失の計上及び2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、連結子会社であるBioserve Biotechnologies India Pvt. Ltd. の当社が保有する同社株式について、関係会社株式評価損105百万円を計上したこと等により損失幅の縮小が一部相殺されております。

以上の理由により、2024年3月期通期個別業績と前期実績値との間に差異が生じています。

以上